

日本計算工学会 論文奨励賞を受賞しました (2021/5/19)

テーマ：計算工学、計算力学、CAE、災害シミュレーション

場 所：(一社)日本計算工学会2021年度定時社員総会・第II部表彰式(オンライン)

URL：<https://www.jscs.org/award/index.html>

当研究所の災害評価・低減研究部門 計算安全工学研究分野(寺田教授・森口准教授)に所属する韓霽珂氏(大学院工学研究科 土木工学専攻 博士後期課程1年)が、一般社団法人日本計算工学会より2020年度の論文奨励賞を受賞しました。日本計算工学会では、計算工学の発展に顕著な貢献をしたと認められる論文の著者で、今後の発展を奨励することが適当と認められる、受賞者の年齢が受賞年の4月1日現在で40歳未満の正会員または学生会員に論文奨励賞を授与しています。

韓霽珂氏は「可変正則化パラメータを用いたphase-field 延性破壊モデル」と題して、国内での先行研究例が少ないphase-field き裂モデルを弾塑性材料の延性損傷の記述へと拡張し、鋼材の延性損傷を数値シミュレーションによって精度よく再現した点が評価され、今回の受賞となりました。

表彰式は、2021年5月19日にオンラインにて開催された2021年度定時社員総会の第II部において行われました。

受賞

韓霽珂：2020年度 論文奨励賞



論文奨励賞(オンライン開催のため記念撮影は中止)

文責：寺田賢二郎(計算安全工学研究分野)

韓霽珂(工学研究科)